

## 2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	げっかぶとうかい えむ	
団体名	月下舞踏会 M	
代表者名	古関すまこ	
連絡先	住所	岡山市中区門田屋敷 1-3-31-301
	TEL	090-1210-5111
	E-mail	kosekisumako@hotmail.com
	URL	gekkabutohkai.iza-yoi-net
設立年（西暦）	2018 年	
助成活動名	【ありがとうファーム】と創る『未来の花』	
助成額	500,000 円	
活動内容	目的	環境問題・戦争・感染など地球には危険な兆候が萌している。また若者の自殺の増加など、心身の健康が危機的な状況に向かいつつある。この事態に立ち向かう一つの方法を「創造」行為の中に求める。すでにアートによる治療は多くの所でなされているが、障害者就労支援施設ありがとうファームもその一つである。そことコラボしつつ舞踏を通して未来の地球の姿を求める作品を作る。その目的は「ありがとうファームメンバーの心身の解放、治癒への一助」と「観客に作品を通して気づきと感動を与える」ことであった。公演『未来の花』は地方都市独特の保守性、既成概念や差別などに風穴を開け、多くの観客の気づきと感動を呼んだ。本事業の目的は十分に果たされた。
	内容	2050 年の地球はどうなるか、その危機を乗り越えるのは経済・効率主義や学歴・競争社会などの様々な【既成の価値観の見直し】であると訴え、自由な創造がそのカギを握るとするのが本公演の内容であった。障がい者就労支援事業所【ありがとうファーム】のメンバーが未来の地球を生きる「子供たち」を演じ舞踏会が彼らを見守る「天使」の役を演じ、そこに白神貴士の映像が絡むという立体的な構造により、分かりやすく、また芸術性の高い作品となった。公演が訴えた「一人一人が違っていてもいい、じゃない、違うからいい」という点はまさにありがとうファームと舞踏の在り方そのものであり、作品作りを通じて出演者は生き生きと生きる力を増し、また観客にも強く訴えるものとなった。
	成果	ありがとうファームのアート活動は絵画が主であるが、今回「体を使う」「表現する」ということに果敢に挑んだ。人に口も聞けなかった子が、舞台の上で大きな声で叫び走り回った。羞恥心を克服し大きく殻を打ち破って世界に新しく生れ出た。お客さんもみんな感動の声を届けた。250 名の観客に見てもらい、アフタートークも活発で、アンケートには「世界観がすごすぎて引き込まれた」「演出が非日常。素晴らしかった」「新しい可能性を見出した」など、先鋭的な舞台芸術に触れた感動を示す記述が多かった。「体に基づく表現」の力が大きく示されたと思い、それが何よりの成果であった。
今後の課題と対応策	今回開けられた風穴が閉じないように。公演活動やワークショップを続けていきたい。ありがとうファームも古関とともに「カラダからの表現」を続けていくことを望んでいる。11 月 11 日のパラフェスには、開始前に広場でパフォーマンスを行う。劇場空間とは違う、散漫にもなりがちな野外空間にどう立ち向かうか検討中である。大学時代、心理・哲学を専攻し、また世界で活動してきた古関の舞踏は、表現を通じた心身の健康増進や治癒に寄与する兆しが見えている。これをさらに他施設とのかかわりにも広げつつ、「自然とカラダの復権」の大切さを訴えて行きたい。	



写真の提出